

1ねん学年だよ!!

平成31年3月20日(水) 第49号



「歴史」と「伝統」を感じる1日

昨年11月、堀江中学校創立60周年記念式典があり、「伝統を受け継ぐ」ということについて考える機会となりました。1年生としては、「伝統」や「60年の歴史」といってもなかなかピンと来ないかもしれませんが、「60年の歴史」も、「1日」が積み重なって成り立っているのだということは理解できるでしょう。歴史がつながる瞬間を感じる1日が《卒業式》だといえます。今日は、《卒業式》と、その2日前におこなわれた《3年生を送る会》をレポートします。



《3年生を送る会》は、卒業式にすべての在校生が参列できない堀江中学校で、全校生徒が一堂に会する最後の機会となります。1・2年生からの呼びかけと合唱、それに応える3年生からの合唱、迫力ある歌声が大きな感動を呼びました。一方、楽しかったのは生徒会中心に有志で制作された映像でしょう。3年生が過ごした3年間の学校生活を再現した映像でしたが、1年生の“役者”たちがたくさん出演し、楽しい演技を披露してくれました。実に完成度の高い映像で、会場設営の人たちもあわせて、ここでも《最高の脇役》として活躍することができました。

さて、そうすると、《卒業式》が最高のものにならないはずがありません。校長先生から卒業生1人ひとりに卒業証書が授与される際には、担任の先生が読み上げる名前に、大きな声で「はい!」と返事をします。その声の大きさが3年間の重みをあらわしているようで、参列している人の心に響きました。そして何より、合唱の上手な59期生だから、国歌・大阪市歌・校歌などの歌声が非常に美しいのが印象的でした。「^{あお}揚げば^{とうと}尊し」や「^{ほたる}蛍の光」も素晴らしいのですが、もっとも感動的なのは式の最後に歌われる式歌「旅立ちの日に」でしょう。歌えないほどに号泣する卒業生も見られ、熱い気持ちがほとばしる歌声で、会場は温かい涙に包まれました。



思えば、私たち61期生の入学式で会場の設営をしてくれたのは、卒業した3年生でした。また、キミたち1人ひとりの^{きじょう}机の上に新しい教科書を置いてくれたのも3年生です。そんな関わり合いも「伝統」であり、それが「歴史」をつくっていきます。参列できなかったキミたちも、ぜひそのことは知っておいてください。59期生は“大きなもの”を私たちに残してくれました。



危険はキミの近くに潜んでいる

この学年だよりが配布されるころには球技大会が終わっています。^{ゆる}緩い雰囲気ですらダラダラと遊ぶような球技大会ではなく、体育委員や委員長を中心に運営される、楽しくもキリッと引き締まった行事になったのでしょうか。どんな学校行事も、決められたルールの中で楽しもうとする姿勢は必要不可欠ですが、それは「ふざける」のとは違います。《軽い気持ち》と《甘い判断》でふざける人がいると、一部の人だけが楽しんで、他の人が不愉快な気持ちをするようになります。



中学校に入学してからの1年間で、もうすぐ終わろうとしています。いろんな学校行事が、いつも先生たちの予想を上回るぐらいに盛り上がったり、完成度が高かったりすることは、この1年間の成果と考えていいでしょう。みんなが一生懸命に学校生活を送っていると思いますが、その一方で、軽い気持ちで口にした言葉が相手を傷つけてしまったということはないでしょうか？ 遊びのつもりでやったことが見ている人を不愉快にさせたり、心配をかけたりしたということはないでしょうか？ いじめアンケートに書かれることや、学校生活の中でのトラブルは、ほとんどが“軽い気持ちで”“遊びのつもりで”おこなわれるものだということを、キミたちは知っていますか？ LINEやSNSでのトラブルも同じです。「これぐらいいいだろう」という《軽い気持ち》と《甘い判断》がトラブルのきっかけになります。飲食店のアルバイト店員が不適切な動画を投稿してしまうニュースを見た人も多いと思いますが、友だち同士の“遊び”のつもりが、会社から損害賠償を求められるぐらい大変な事態になっています。中学校生活1年間の成果には、そういった《軽い気持ち》や《甘い判断》をしないようになることも含めたいところです。



この1年、61期生もやはりLINEに関するトラブルがありました。「スマホのゲームばかりして勉強しない」、「晩ごはんのときもスマホを離さない」などと嘆く保護者の声もよく耳にします。もちろん自分が“加害者”になることは絶対に避けなければなりませんが、最近では、SNSやオンラインゲームなどで知り合った人から中高生が被害を受けるケースも報告されています。上手に使える便利なことが多いスマホですが、「自分だけは大丈夫だろう」という《軽い気持ち》で使っていれば、危険もたくさん忍び寄ってきます。スマホ・ネット・SNSと付き合うのなら、自分の“すぐ隣”にトラブルが^{ひそ}潜んでいるということを自覚しなければなりません。

保護者のみなさまへ

本日19日付で、「SNSを通じた青少年の自撮り被害等の防止に向けたメッセージ」、「携帯電話・スマートフォン等の取り扱いについて」という2つのプリントを配布しました。スマホのトラブルに関係した生徒の話の聞いてみると、スマホ利用に関する家庭でのルールが特になくという生徒がいることに驚くことがあります。「うちは大丈夫だろう」という気持ちがあるのかもしれませんが、“トラブルはすぐそこまで来ている”ということを再度認識していただき、春休みを前に、ぜひご家庭で話し合ってください。何かあれば遠慮なくご相談ください。

